



園だより

文京区立第一幼稚園
2022年度6月号

URL <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dai1-kg/>

135周年おめでとう

副園長 工藤 真規子

今年も梅雨入りが早いようです。園庭の草花や虫たちが生き生きと見える季節です。子供たちは、天気の良い日には砂場で思い切り水を使って遊んだり、工夫して自分だけの色水を作ったりして、今の時期ならではの遊びを楽しんでいます。

さて、6月1日は第一幼稚園の開園記念日です。本日5月31日は『第一幼稚園開園135周年を祝う会』を行いました。遊戯室で園長先生から「ぶんきょうくりつだいいちようちえんのおはなし」を聞きました。古い写真や今の写真をつないでスクリーンに映した、子供たちにとっては映画のようなお話です。明治から大正、昭和、平成、令和と、第一幼稚園の135年をダイジェストで見て、昔の園舎や保育風景に驚いたり、今との違いを感じたりして子供たちなりに歴史を感じたことと思います。

遊戯室の舞台正面には、年長児が半立体の大きなケーキを作り、その周りには年長児と年中児がかざぐるまを作って飾りました。2週間ほどかけて少しずつケーキの土台ができ、果物が乗り、ろうそくが立って…と楽しんでケーキを完成させていきました。

感染症対策の中での祝う会でしたので短時間の会ではありましたが、幼稚園のお誕生日をお祝いする気持ちを、描いたり作ったり、歌を歌ったり、様々な表現で表し、皆で共有する素敵なひとときとなりました。一幼会の方々にもマスコット募集のアイデアやマスコットのデータ化、人形づくり、壁面の折り紙装飾、祝葉手配などこの2ヵ月の間に様々ご協力いただきました。心より感謝申し上げます。地域の皆様にはいつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。

まだ生まれてからたった数年の幼児に、「135周年」はピンと来ないかもしれませんが、この一年の思い出が大きくなったときに意味をもつのではないかと思います。一幼会の「かざぐるま」や同窓会誌「風ぐるま」、記念誌を手にしたとき、何かの機会にふと思い出したとき。楽しい思い出や保護者の方の温かさを思い出すのではないのでしょうか。地域の皆様や卒園生、旧教職員など、たくさんの方々に愛され支えられてきた幼稚園で過ごしたことが幸せな記憶として残るといいなと思います。

第一幼稚園のマスコットたちが誕生したことも嬉しい出来事です。今後も135周年記念としていつもの年より少し特別感のある行事や活動を計画しています。保護者の皆様も一緒に楽しんでいただければと思います。

これからも第一幼稚園のよい伝統が続いていくように、保護者・地域の皆様にはご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

